

議題２ 千葉市あんしんケアセンターの事業評価を通じた機能強化について

【国の指標】

１ 事業評価結果（令和２年度実施）

国が策定した全国統一の評価指標により、各あんしんケアセンターの業務の実施状況を把握した。

事業評価結果は、以下のとおりである。

なお、評価にあたっては、一部を除き、令和元年度の取組みを対象とした。

（１）市町村指標

（単位：%）

項目	市（令和２年度）	千葉県（令和２年度）	全国（令和２年度）	【参考】市（令和元年度）
組織運営体制等	94.7	81.0	78.1	89.5
総合相談支援	100.0	84.9	83.8	100.0
権利擁護	100.0	82.4	85.9	100.0
包括的・継続的 ケアマネジメント支援	66.7	66.0	66.9	83.3
地域ケア会議	84.6	62.1	66.8	76.9
介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	100.0	62.0	64.8	100.0
事業間連携	100.0	83.0	88.4	100.0

（２）センター指標

（単位：%）

項目	市（令和２年度）	千葉県（令和２年度）	全国（令和２年度）	【参考】市（令和元年度）
組織運営体制等	97.7	88.8	84.2	96.6
総合相談支援	99.4	93.3	90.8	99.4
権利擁護	96.4	90.9	89.2	91.4
包括的・継続的 ケアマネジメント支援	95.8	83.7	80.9	97.0
地域ケア会議	98.4	86.0	82.5	97.2
介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	99.3	83.7	79.5	98.6
事業間連携	97.9	91.7	89.3	92.9

2 昨年度との比較

(1) 改善された主な項目

ア 介護支援専門員を対象とした意見収集等

市	Q51 介護支援専門員を対象に、包括的・継続的ケアマネジメントを行うための課題や支援などに関するアンケートや意見収集等を行い、センターに情報提供を行っているか。				
	評価結果	R1	×	R2	○

(改善した理由)

令和2年1月に、各居宅介護支援事業所宛にアンケート調査を実施し、調査結果をあんしんケアセンターに情報提供したため。

(2) 引き続き対応が必要となる主な項目

ア 3職種の配置

市	Q25 センターにおいて3職種（それぞれの職種の準ずる者は含まない。）が配置されているか。				
	評価結果	R1	×	センターに配置されている3職種数の平均値（2.57）が評価基準（2.5）を上回っているものの、引き続き対応が必要である。	
		R2	○		
センター	Q16 3職種（それぞれの職種の準ずる者は含まない）について、必要数を配置しているか。				
	評価結果	R1	○	13	(R2が「×」の理由) 令和元年度から国評価指標が改定され、職種の準ずる者が配置数に含まれない取扱いとなり、保健師に準ずる者として看護師を配置しているセンターが該当しないこととなったため。
			×	15	
		R2	○	16	
			×	12	

(今後の対応方針)

国の通知に基づき、保健師に準ずる者として看護師を配置する場合は、地域ケア、地域保健等に関する経験があり、高齢者に関する公衆衛生業務経験を1年以上有する者を配置することとしている。

一方で、全国統一の評価指標では、看護師は評価対象から除外されている。

包括3職種の人件費を含むセンター運営経費については、令和元年度から毎年度増額しており、今後も経費を拡充することで3職種の配置を求めていく。

イ 成年後見制度の市町村長申し立てに関する判断基準

センター	Q36 成年後見制度の市町村長申し立てに関する判断基準が、市町村から共有されているか。				
	評価結果	R1	○	16	(R2 が「×」の理由) 評価の時点が令和元年度 of 取組みを対象にしており、調査時点では「成年後見市長申し立て事務マニュアル」に基づく判断基準を、個別ケースごとにはセンターと共有しているが、センター全体とは共有できていないため。
			×	12	
		R2	○	24	
			×	4	

(今後の対応方針)

「成年後見制度活用検討ガイドライン」について、今年度中に策定し、センターに情報共有を行う。
※令和2年度の管理者会議において、市長申し立てに関する判断基準について、あんしんケアセンターに対し情報提供を行い、共有を図った。

ウ 介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会の開催計画の策定及び周知

センター	Q43 介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に、指定居宅介護支援事業所に示しているか。				
	評価結果	R1	○	26	(R2 が「×」の理由) 新型コロナウイルスの影響により、研修を策定するために必要な圏域内の介護支援専門員との会議が困難になったことで、研修計画の策定が困難となるケースがあったため。
			×	2	
		R2	○	22	
			×	6	

(今後の対応方針)

オンライン会議や他のセンターでの事例などをあんしんケアセンターに情報提供することで、対面形式でなくとも研修計画を作成できるような体制を構築していく。

エ 認知症初期集中支援チームとの情報共有

センター	Q66 認知症初期集中支援チームと訪問支援対象者に関する情報共有を図っているか。				
	評価結果	R1	○	20	(R2 が「×」の理由) 評価の時点が令和元年度の取組みを対象にしており、調査時点では、美浜区内にチームが設置されていないことや相談案件が発生していないため。
			×	8	
		R2	○	25	
			×	3	

(今後の対応方針)

今年度、新たに美浜区にチームが設置されているため、随時、対象者に関する情報共有を行っていく。